

キュービーネットホールディングス株式会社

2018年6月期 第3四半期 決算説明会資料

2018年5月15日



NEXT10

今の10分も次の10年も同じ情熱で。

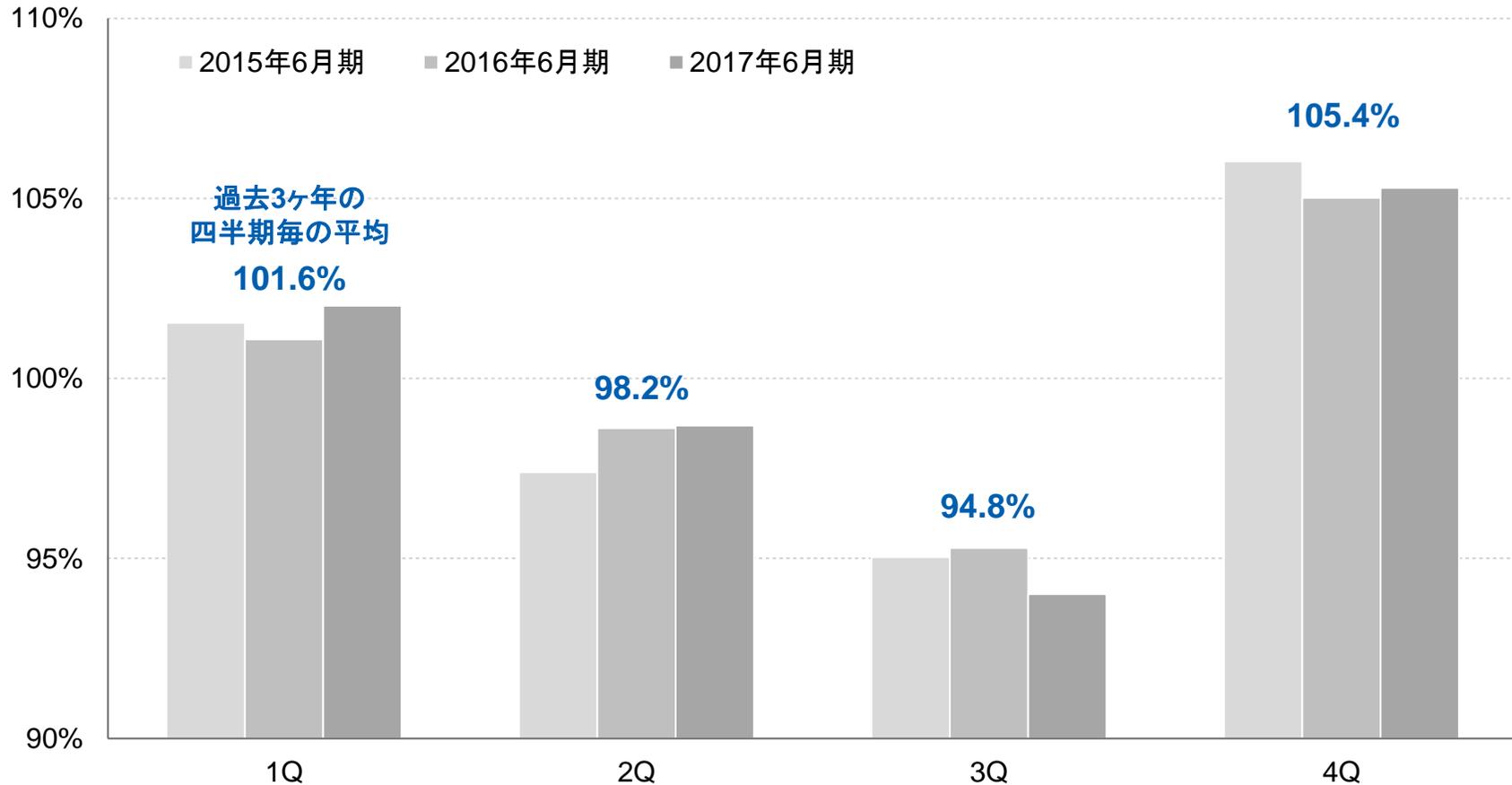
2018年6月期 通期グループ連結業績予想

単位:百万円	2018/6期第3四半期			2018/6期通期			進捗
	実績	売上比	前期比	予想	売上比	前期比	
売上収益	14,221	100.0%	108.2%	19,090	100.0%	106.2%	74.5%
営業利益	1,113	7.8%	87.5%	1,714	9.0%	114.1%	64.9%
税引前利益	1,051	7.4%	87.0%	1,631	8.5%	115.1%	64.4%
当期(四半期)利益	743	5.2%	84.5%	1,100	5.8%	107.5%	67.5%
基本的1株当たり 当期(四半期)利益	61円97銭			91円67銭			

2018年6月期 株主還元について

- 2018年6月期(予想)において期末配当を予定(具体的な配当金額については現時点では未定)
- 2018年6月期の配当金額は親会社の所有者に帰属する当期利益に対する連結配当性向20%を目標

過去3ヶ年の国内既存店売上高の四半期推移*1



*1 国内既存店月次売上高の四半期毎の平均を100とした場合の各四半期の既存店売上高の値を百分率で表したものを指す

国内

- 既存店: 9ヶ月連続で前年比100%超え。累計103.2%と堅調に推移
- QB HOUSE: 15店舗を新規オープン(東日本10店舗/西日本5店舗)
- FaSS: 1店舗を新規オープン(アトレ川崎)
- 前期開校した名古屋の研修施設の効果等により、研修生が約30%増加。将来の出店に向けて店舗スタッフを確保



海外

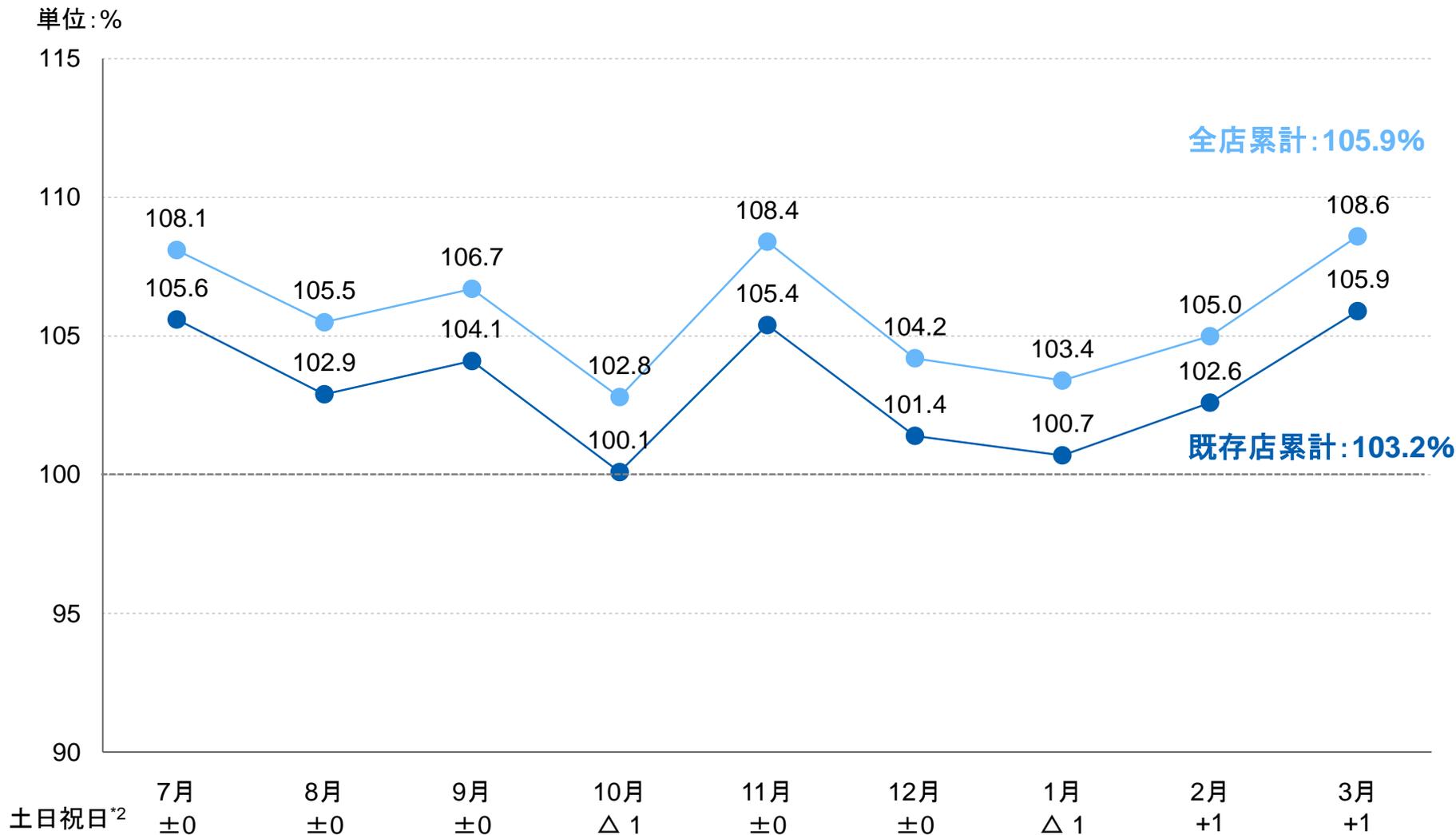
- 香港、シンガポール、台湾では通年で最も繁忙期となる旧正月の実績が過去最高を記録。高いリピート率のため固定客化が進むと期待
- 香港は2店舗、シンガポールは2店舗、台湾は3店舗を新規オープン
- アメリカ(ニューヨーク)は2018年1月に2店舗目を新規オープン。1号店以上に出足好調。日本人駐在員ではなくローカル顧客比率が8割を超える状況



国内店舗月次売上高の推移



2018年6月期 国内店舗月次売上高の前年比*1



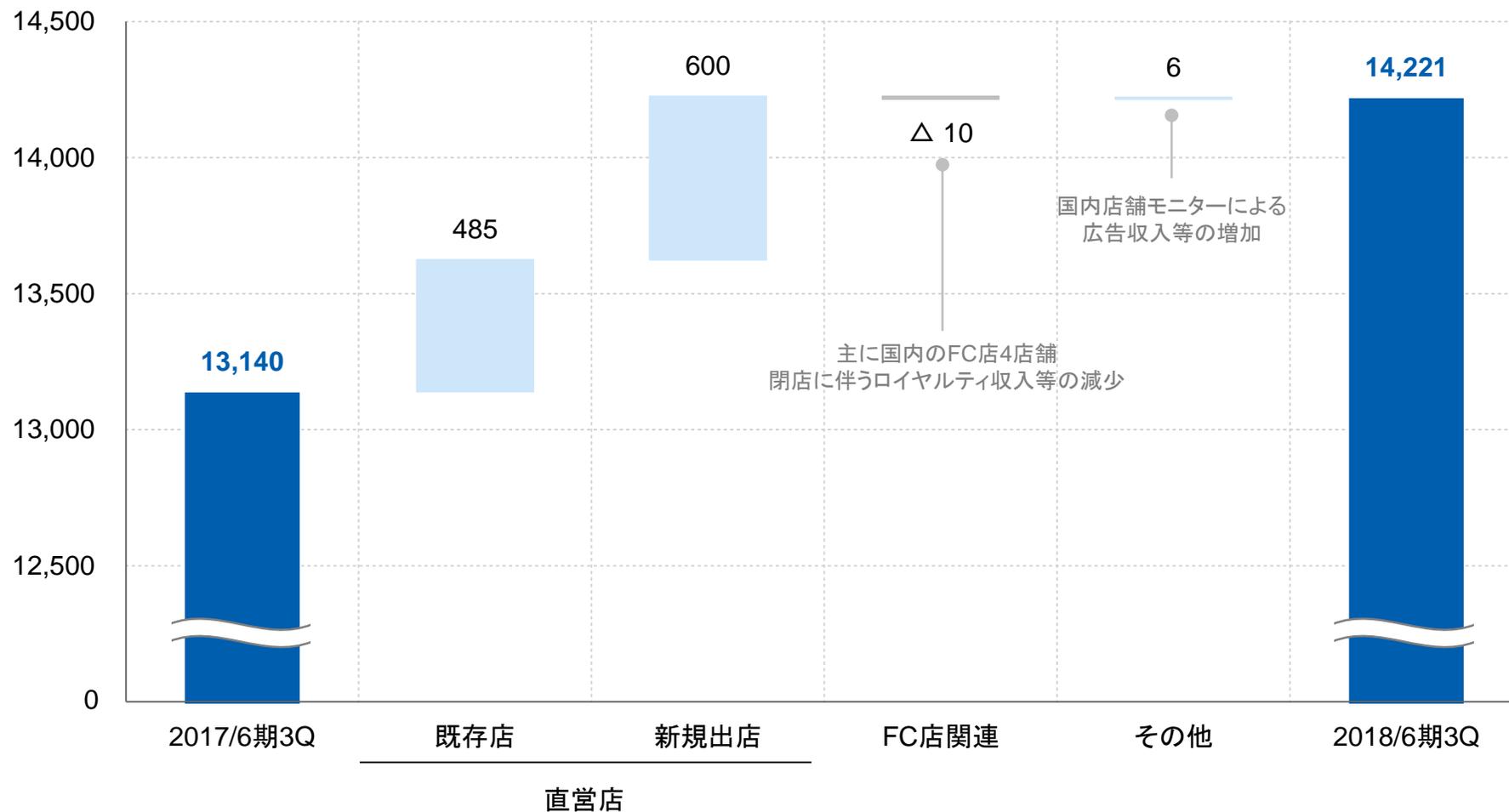
*1 既存店とは前期期首から期末まで通年で稼働し、今期も稼働している店舗(但し、イレギュラーな1ヶ月以上の一時休業店舗は除く)であり、FaSSを含む。国内店舗のデータであり、海外店舗分は含まず

*2 2017年6月期の同月と比較した場合の土日祝日数

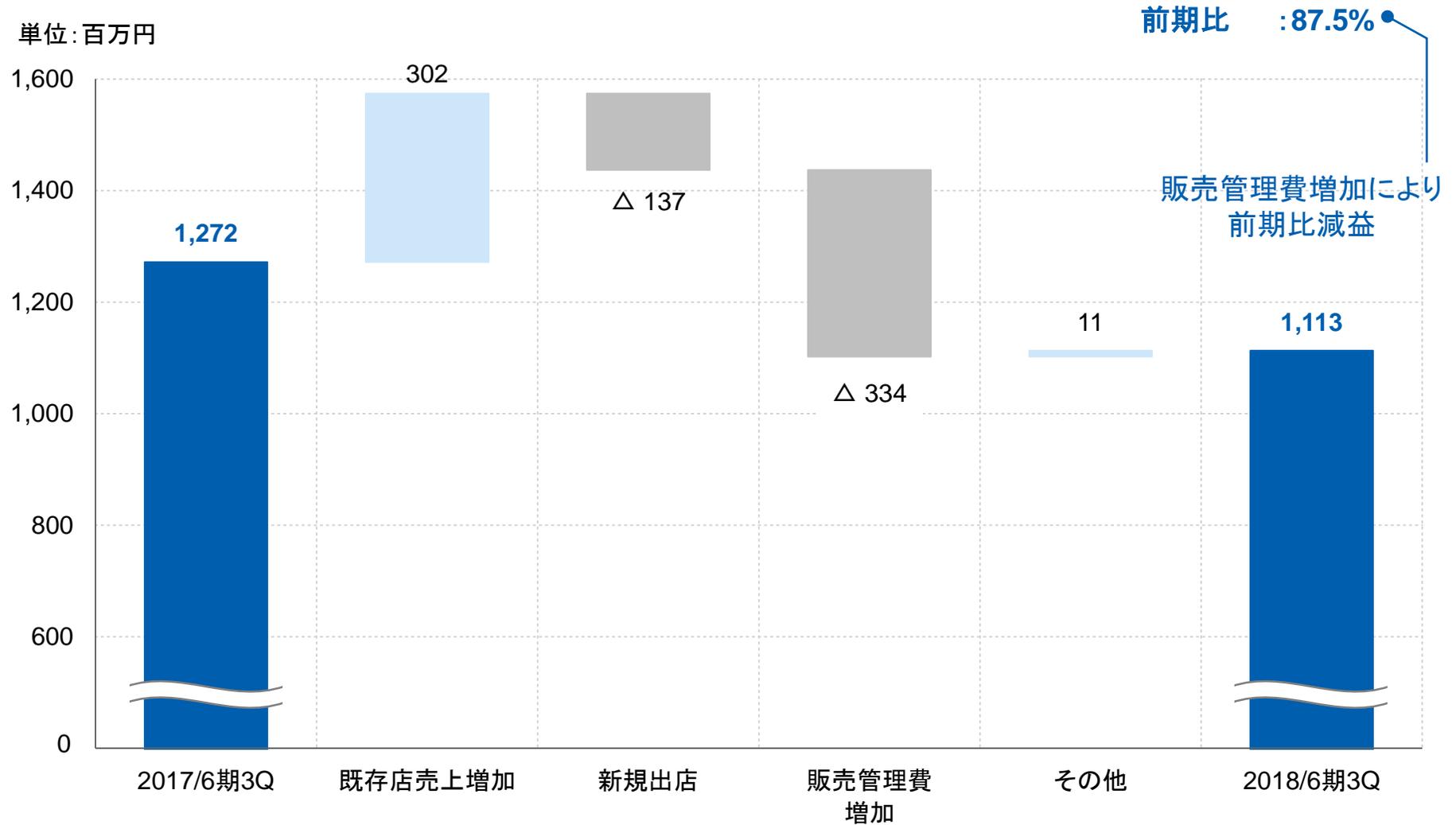
単位:店舗	業態	2017/6期				2018/6期	
		第3四半期末	新規出店	閉店	増減	第3四半期末	(ご参考) 4月店舗増減
日本	QB HOUSE	526	24	13	11	537	5
	FaSS	9	2	0	2	11	0
国内小計		535	26	13	13	548	5
シンガポール	QB HOUSE	29	0	2	△ 2	27	0
	Kids	2	0	1	△ 1	1	0
	QB HOUSE Premium	4	4	0	4	8	0
香港	QB HOUSE	56	4	3	1	57	0
台湾	QB HOUSE	22	5	2	3	25	0
アメリカ	QB HOUSE	0	2	0	2	2	0
海外小計		113	15	8	7	120	0
連結グループ合計		648	41	21	20	668	5

前期比 : 108.2%

単位: 百万円



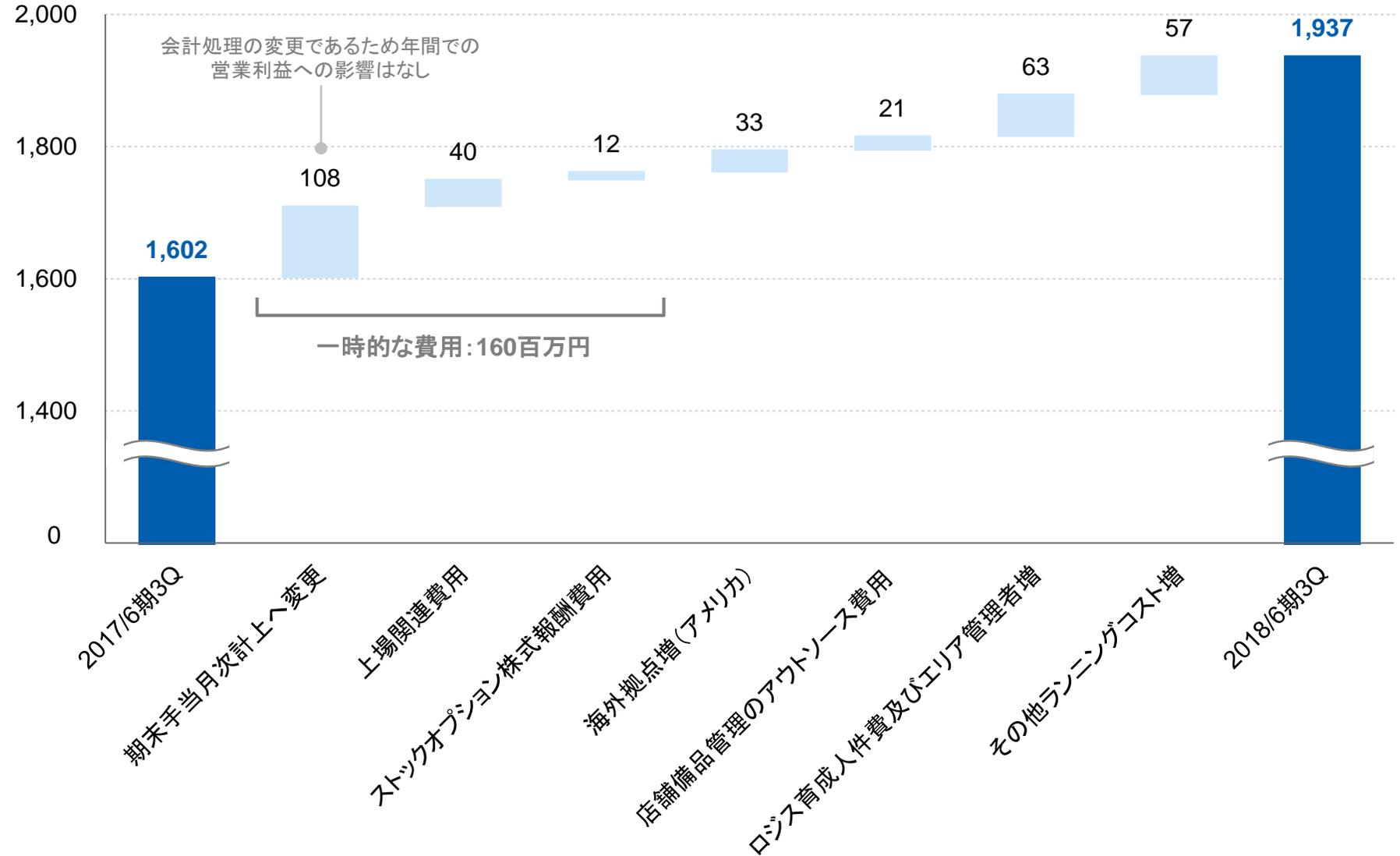
営業利益の増減分析



販売費及び一般管理費の増減分析



単位: 百万円



販管費増は当初計画通りであり、第3四半期は予算比巡航速度で着地

単位:百万円	2017/6期第3四半期		2018/6期第3四半期			
	実績	売上比	実績	売上比	増減	前期比
売上収益	13,140	100.0%	14,221	100.0%	1,080	108.2%
売上原価	△ 10,253	78.0%	△ 11,169	78.5%	△ 915	108.9%
売上総利益	2,887	22.0%	3,052	21.5%	164	105.7%
その他の営業収益	14	0.1%	22	0.2%	7	155.5%
販売費及び一般管理費	△ 1,602	12.2%	△ 1,937	13.6%	△ 334	120.9%
その他の営業費用	△ 26	0.2%	△ 23	0.2%	2	90.7%
営業利益	1,272	9.7%	1,113	7.8%	△ 159	87.5%
金融収益	8	0.1%	9	0.1%	1	112.0%
金融費用	△ 72	0.6%	△ 71	0.5%	1	98.5%
税引前四半期利益	1,208	9.2%	1,051	7.4%	△ 157	87.0%
法人所得税費用	△ 328	2.5%	△ 307	2.2%	21	93.6%
四半期利益	879	6.7%	743	5.2%	△ 136	84.5%

連結財政状態計算書

単位:百万円

	2017/6期 4Q末	2018/6期 3Q末	増減額	
流動資産合計	3,488	3,081	△ 407	法人所得税の支払等による減少 (P.12)
現金及び現金同等物	1,962	1,717	△ 245	
営業債権及びその他の債権	821	1,060	239	当3Q末が銀行休業日で債権回収日が翌月に月ズレしたため
棚卸資産	81	109	27	
その他	622	194	△ 428	
非流動資産合計	20,085	20,050	△ 34	国内の組織再編(ホールディングス化)により発生したQBNDHの未収法人税及び未収消費税の還付(△446百万円)
有形固定資産	2,357	2,252	△ 104	
のれん	15,430	15,430	0	
その他の金融資産	1,620	1,662	42	店舗の新設及びリニューアルの抑制による設備投資の減少
繰延税金資産	420	421	0	
その他	257	284	27	
資産合計	23,573	23,132	△ 441	長期借入金返済による減少(△525百万円)及び納税資金の短期借入れ(+200百万円)
負債合計	16,139	14,985	△ 1,153	
営業債務及びその他の債務	486	364	△ 121	
有利子負債	12,680	12,362	△ 318	国内の組織再編(QBN新設)により発生した新設QBNの未払法人税及び未払消費税の支払等による未払税金の減少(△767百万円)
その他	2,971	2,258	△ 713	
資本合計	7,434	8,146	711	四半期利益計上(743百万円)
負債及び資本合計	23,573	23,132	△ 441	

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円	2017/6期 3Q末	2018/6期 3Q末	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,320	825	△ 495	
税引前四半期利益	1,208	1,051	△ 157	
減価償却費及び償却費	493	556	63	
金融収益	△ 2	△ 9	△ 7	当3Q末が銀行休業日で債権回収日が翌月に月ズレしたため
金融費用	72	71	△ 1	
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△ 14	△ 271	△ 256	国内の組織再編(ホールディングス化)により、QBNHD(旧QBN)の中間納付の一部が当期に還付されたため
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	57	△ 36	△ 94	
法人所得税の還付額	0	76	76	
法人所得税の支払額	△ 152	△ 733	△ 581	国内の組織再編(QBN新設)により、新設QBNの中間納付が発生せず、約2.5億円の税金支払が当期に期ズレしたため
その他	△ 341	121	463	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 746	△ 633	113	
有形固定資産の取得による支出	△ 617	△ 467	150	店舗の新設及びリニューアルの抑制による設備投資の減少のため
無形資産の取得による支出	△ 24	△ 108	△ 84	
その他	△ 104	△ 57	47	基幹システムのリプレイスによる投資増加のため
フリー・キャッシュ・フロー	574	192	△ 381	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 553	△ 382	170	納税資金の短期借入れ(200百万円)のため
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89	△ 245	△ 335	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,018	1,717	△ 300	

国内

- 既存店:4月も100.1%と前年比100%超えを維持
- QB HOUSE:4月に5店舗を新規オープン(東日本4店舗/西日本1店舗)
- さらなる採用・育成強化を目指し、東京・大阪・名古屋に続き、福岡に研修施設を新設予定。併設の店舗は6月オープン、研修施設は7月開校の予定



ジョイナステラス二俣川(2018年4月オープン)



イトヨーカドー弘前(2018年4月オープン)

海外

- シンガポールに続き、香港でも1ランク上の「QB HOUSE Premium」の出店を計画。より高品質なサービスを提供することで、新たな顧客層の獲得を図る
- アメリカ(ニューヨーク)は3店舗目の出店を準備中。早期店舗展開によりドミナントを形成し収益化を図る



QBHOUSE



Appendix

NEXT10

今の10分も次の10年も同じ情熱で。

店舗数・売上高日本最大級の「QB HOUSE」等、ヘアカット専門チェーンを運営するキュービーネットの持株会社

「QB HOUSE」の店舗形態



5つのお手軽さを軸とした
ヘアカットサービスのみを提供する
「QB HOUSE」



20～40代男女をターゲットとした
ヘアカット&スタイリングを提供する
「FaSS」

世界5ヶ国で展開



日本



シンガポール



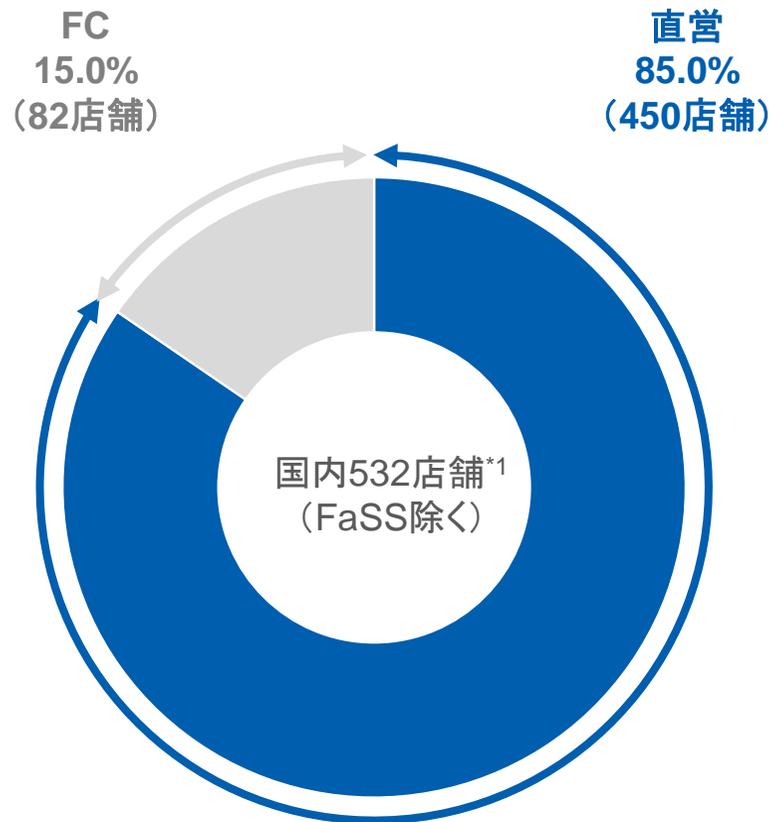
香港



台湾



アメリカ



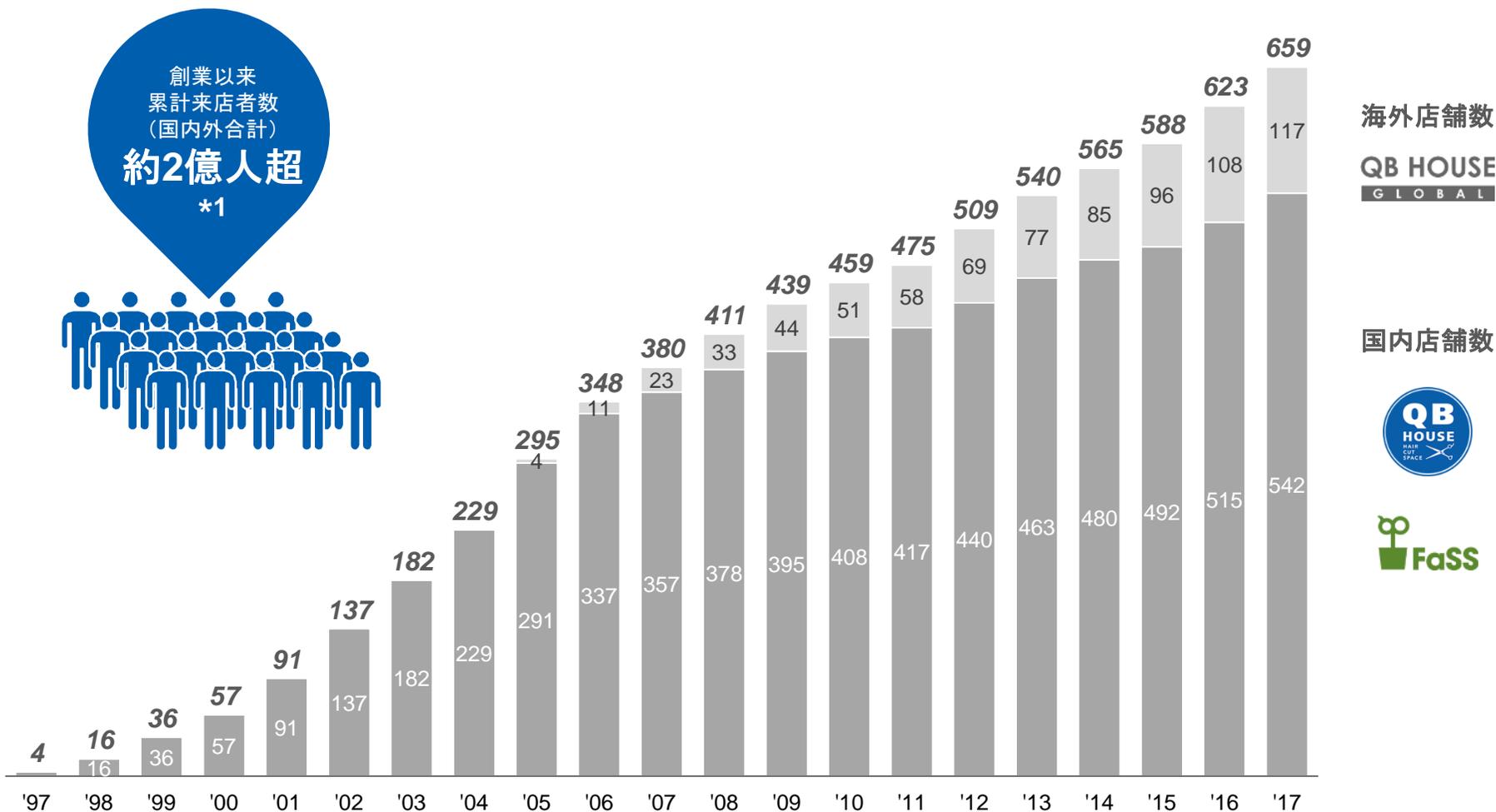
FaSS、海外は全て直営

*1 2017年6月末時点

キュービーネットホールディングスの店舗数推移



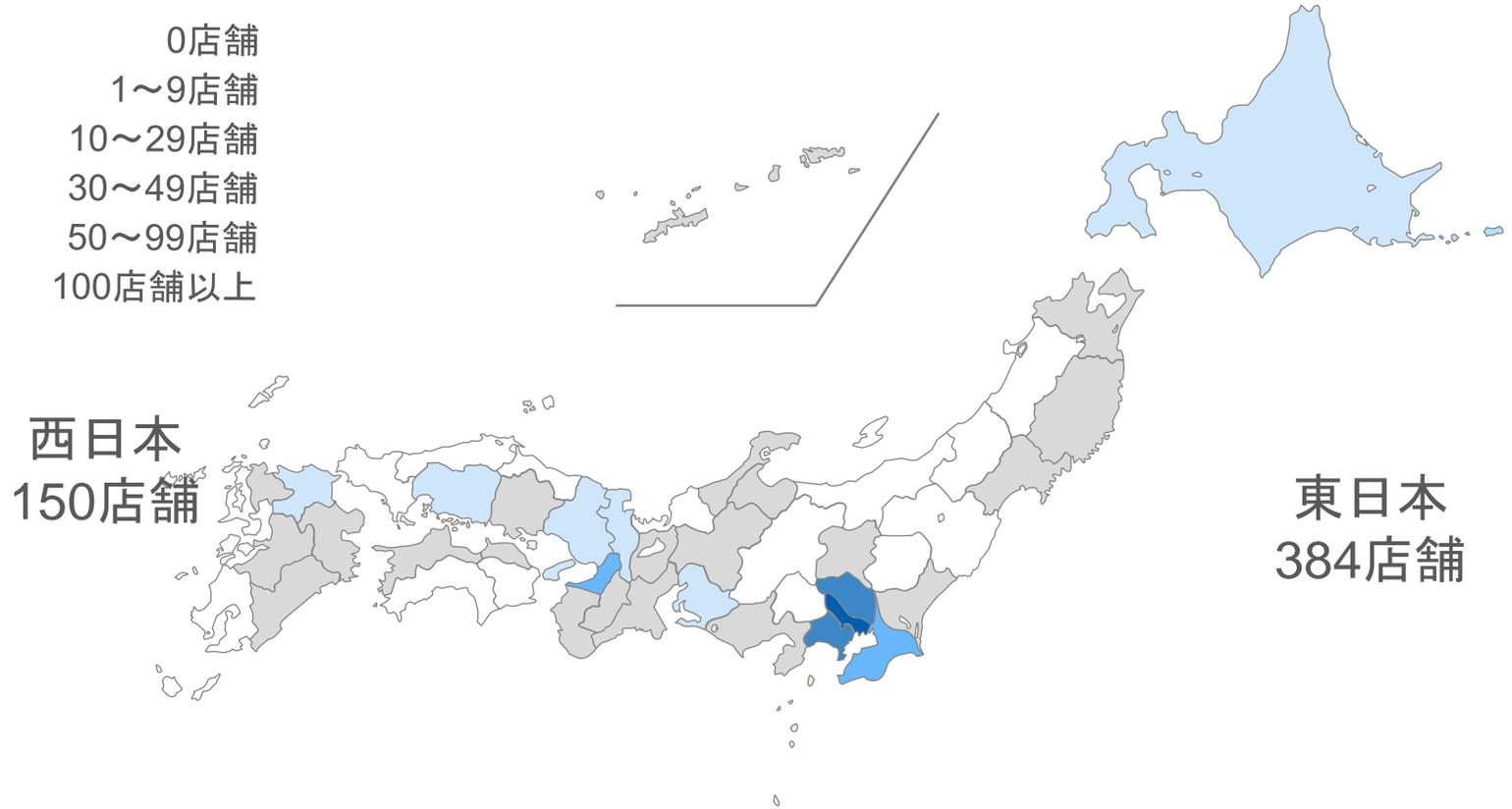
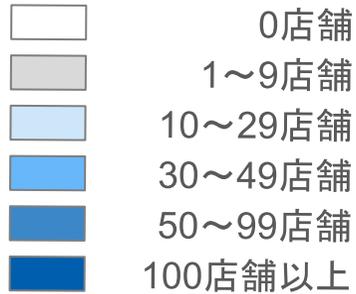
各事業年度末(6月末)時点の店舗数推移



*1 2017年6月末時点

空白地域が大きい西日本での出店を強化

都道府県別の出店数*1

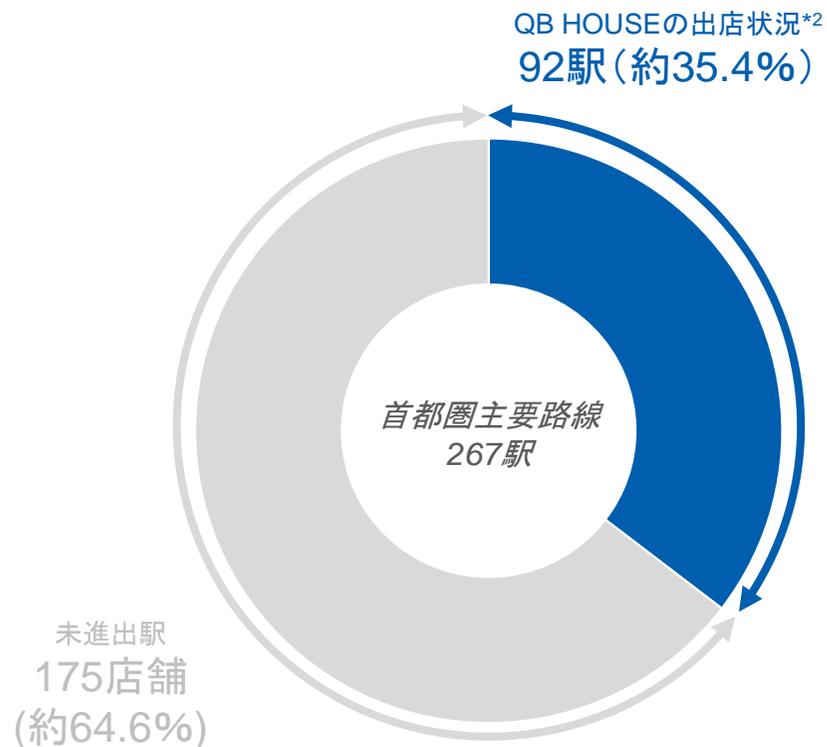
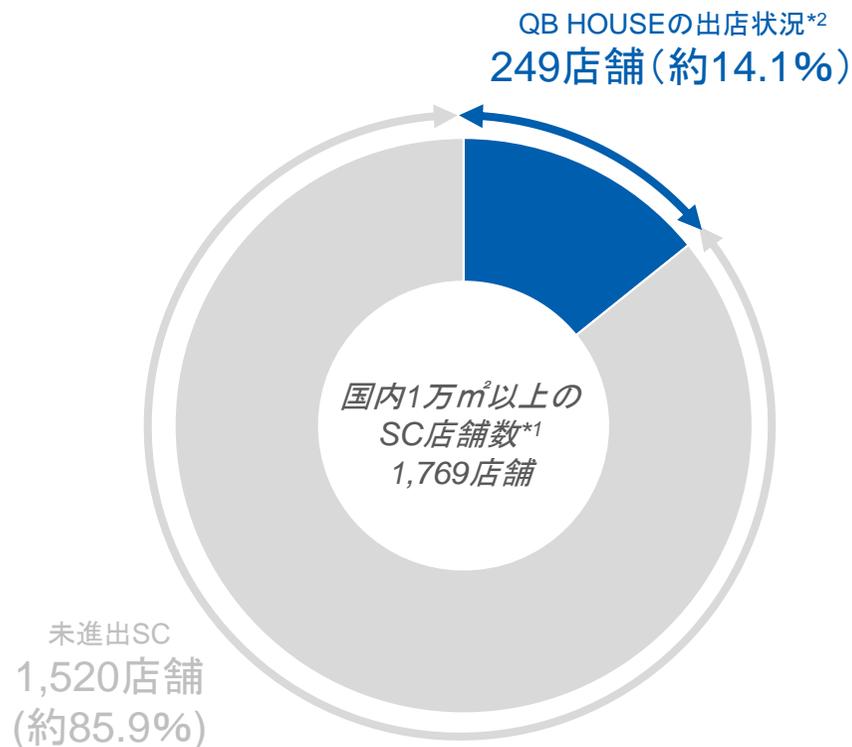


*1 2017年12月末時点のQB HOUSE店舗が対象

大型ショッピングセンター・首都圏主要沿線等の出店余地は大きく、今後出店を進める方針

国内1万㎡以上のSC数と出店状況

首都圏主要路線の出店カバー率*1



出所:一般社団法人日本ショッピングセンター協会

*1 店舗数は2016年12月末時点

*2 出店状況は2017年5月末時点

出所:各社HP

*1 出店カバー率=東京都内の「QB HOUSE」出店駅数/東京都内駅。弊社HP上の店舗検索にて路線から検索を実施しヒットした店舗について、最も近接した距離にある駅に出店しているかどうか。出店状況は2017年12月末時点。複数路線が乗り入れている駅に関しては、路線検索で当該駅に1店舗でも出店していれば、検索した路線以外の路線でも当該駅に出店しているものとしてカウント

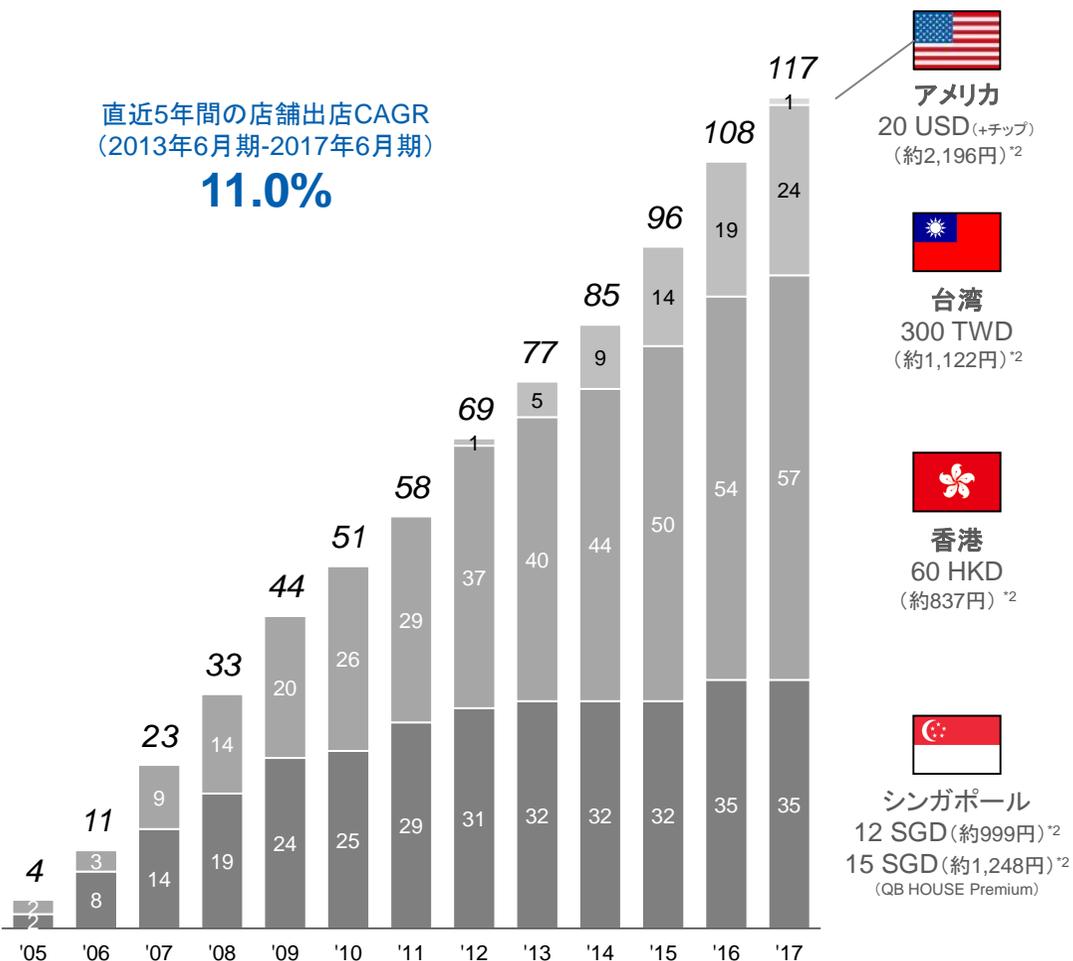
*2 出店状況は2017年5月末時点

アジア地域に加えて、欧米地域での展開をスタート

海外店舗数推移*1

直近5年間の店舗出店CAGR
(2013年6月期-2017年6月期)

11.0%



欧米地域への出店(NYへの出店)



*1 6月期集計(2005 - 2006年は3月期集計)。国旗下の数字は現地での価格

*2 Quickにおける2018年1月末時点終値のBidレートを使用し円換算(USD: 109.78円、TWD: 3.74円、HKD: 13.95円、SGD: 83.21円)

「QB HOUSE」と異なる顧客層をターゲットとして、セカンドブランド「FaSS」を展開中

1 コンセプト

20~40代の男女が
ターゲット

『Fast Salon
for Slow Life』

2 サービス内容

Cut & Styling



(IT'S FAST)

カット&スタイリング
約20分

Low Price



(IT'S REASONABLE)

2,000円(税別)

No Reservation



(IT'S EASY)

予約なし、
自動受付システム

3 店舗展開

東京都内を中心に11店舗を展開



二子玉川ライズ
S.C.店



代官山アドレス・
ディセ店



中目黒店

FaSSの出店状況



カット専門店の技術力を生かして訪問理美容事業を拡大

1 QBハウスの訪問理美容の特徴

- 専門教育による介護スキルの高さ
- カット専門店ならではの確かな技術力
- 徹底した衛生管理



訪問理美容カーを用いたサービスを展開

2 サービス内容

ヘアカット

顔そり

ベットサイドカット

ヘアカラー
(シャンプー込)

シャンプー

パーマ
(シャンプー込)



カット専門店ならではの技術力

IRについてのお問い合わせ電話番号

キュービーネットホールディングス株式会社 経営管理部

TEL :03-6418-9196

受付時間:午前9時30分～午後6時(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

本プレゼンテーション資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、売買の勧誘を構成するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。



QBHOUSE
GLOBAL



QBハウスの
訪問理美容サービス

